

【部課名：健康こども部こども政策課】

事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
ファミリーサポートセンター事業		仕事と子育ての両立を支援することを目的とし、育児の手助けをして欲しい「依頼会員」と、手助けをしたい「提供会員」による会員同士の相互援助活動を行うファミリーサポートセンターの運営を社会福祉協議会へ委託するもの。		指標	総計の現状値	R7実績値	本事業の会員数に関しては若干の増加が見られた。この成果は、高石市との連携により、提供会員向けの講習を相互受講可能とする体制を構築したことや、広報活動の強化により、登録促進につながった。 また、令和6年度から拠点で本事業を利用した預かりを可能とした施設があることに加え、令和7年度からはファミリー・サポート・センター内の一室を活用した一時預かり（ぶっち）を開始した。今後はさらなる利用の増加とともに、産み育てやすいまちという実感の醸成に向けた継続的な取組が必要である。	会員数の増加とともに利用数についても増加を図るため、会員登録のための講習会の機会増加を引続き実施するとともに、SNSや動画等を活用した広報活動により事業の認知向上と周知を図っていく。また、利用増加の方策として、子育て世代がより身近に感じられる環境を整えることで、さらなる利用の促進を目指す。
総合計画の位置づけ				地域子育て支援拠点利用者数	34,870	36,052		
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち			こどもを産み育てやすいまちだと思う市民の割合	58.1	50.3		
個別目標	こどもたちが笑顔で育ち安心して育てられる子育て世代に選ばれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】						
個別目標の方向性	子育て家庭の不安を解消し安心して子育てできるよう家庭や地域の子育て力の向上を目指します	R6決算額	8,745	(5,646)				
		R7決算見込額	10,098	(7,424)				
		R8予算額	10,935	(8,097)				
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
おやこ広場運営委託事業		子育て家庭の情報交換や交流、相談の場を提供し、育児不安の軽減や解消を図るとともに、家庭や地域の子育て力の向上を支援し、子どもを安心して産み育てるための環境づくりを推進することを目的とする。運営を社会福祉法人等へ委託するもの。		指標	総計の現状値	R7実績値	おやこ広場（地域子育て支援拠点事業）の運営を委託し、広場事業や相談事業、講座等を開催し、泉大津市地域子育て支援センターと連携し育児不安の解消や軽減を図る取組を行い、おやこ広場の利用者数向上に取り組んだ。これにより拠点利用者数の増加へとつながることができたが、産み育てやすいまちという実感の醸成に向けた継続的な取組が必要である。	泉大津市地域子育て支援センターを含む8カ所のおやこ広場を運営しており、各機関同士の情報共有や職員の研修等を通じて、子育て講座や相談体制のさらなる質の向上を図る。
総合計画の位置づけ				地域子育て支援拠点利用者数	34,870	36,052		
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち			こどもを産み育てやすいまちだと思う市民の割合	58.1	50.3		
個別目標	こどもたちが笑顔で育ち安心して育てられる子育て世代に選ばれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】						
個別目標の方向性	子育て家庭の不安を解消し安心して子育てできるよう家庭や地域の子育て力の向上を目指します	R6決算額	20,695	(6,427)				
		R7決算見込額	20,874	(6,838)				
		R8予算額	21,806	(8,466)				
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
地域子育て支援センター事業		かみじょう認定こども園内に地域子育て支援センターを設置し、子育て家庭の交流の場及び情報の提供、子育てに関する相談、講習会等を実施するもの。また、子育てサークルへの活動支援補助金を支給し、地域における子育て支援活動の活性化を図る。		指標	総計の現状値	R7実績値	子育ての相談や交流の場の提供に加え、多胎児や男性の子育て参加の推進、新米ママ対象の親子の絆を深めることができるプログラム（BP）など、市が推進する先進的な取組を実践するほか、子育てサークルの立ち上げや運営支援なども行い、市の子育て支援の中核的な取組を実施した。これにより拠点利用者数の増加へとつながることができたが、産み育てやすいまちという実感の醸成に向けた継続的な取組が必要である。	多胎児支援や男性の子育て参加推進については、先進的な取り組みを進めているものの、参加率向上のための具体的な方策が必要です。 また、子育てサークル支援に関しては、サークル設立数が目標とする数値に届かなかったことに加え、立ち上げ後の持続可能な運営体制の構築が課題となっています。今後も引き続き、これらの支援策を推進し、利用者の利便性向上と活動の定着に取り組む。
総合計画の位置づけ				地域子育て支援拠点利用者数	34,870	36,052		
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち			こどもを産み育てやすいまちだと思う市民の割合	58.1	50.3		
個別目標	こどもたちが笑顔で育ち安心して育てられる子育て世代に選ばれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】						
個別目標の方向性	子育て家庭の不安を解消し安心して子育てできるよう家庭や地域の子育て力の向上を目指します	R6決算額	12,994	(6,383)				
		R7決算見込額	12,744	(4,520)				
		R8予算額	13,771	(4,518)				

事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
子育て応援事業		妊娠・出産・子育てに関する情報を分かりやすく集約・一元化し、子育て支援サービスの向上を目指すため、ポータルサイト及びスマートフォン向けアプリの運用を行っている。これにより、子育て関連情報や子育てしやすい環境づくりの取り組み内容を広く周知する。			指標	総計の現状値	R7実績値	ポータルサイトやアプリの運用とともに、内容の充実をはかり、子育て関連の情報発信を積極的に行い、行政サービスの利用促進に取り組む。また、妊娠期からこどもの就学時までの各行政サービスをまとめた冊子を作成し、市内外の子育て世帯に向けた発信も行い、子育て環境の充実に取り組んだ。今後は利便性の評価向上に繋げる必要がある。	引続き、各種媒体を活用し情報の発信の充実を図りながら、アプリ機能を活用し子育て講座などの利用に活用するなど、利便性の向上に取り組む。
総合計画の位置づけ					地域子育て支援拠点利用者数	34,870	36,052		
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち				こどもを産み育てやすいまちだと思ふ市民の割合	58.1	50.3		
個別目標	こどもたちが笑顔で育ち安心して育てられる子育て世代に選ばれるまち				事業費（うち市負担額）【千円】				
個別目標の方向性	子育て家庭の不安を解消し安心して子育てができるよう家庭や地域の子育て力の向上を目指します	R6決算額	791	(0)					
		R7決算見込額	775	(0)					
		R8予算額	1,094	(0)					
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
こどもの居場所づくり事業		家庭的、経済的に様々な事情を抱えたこどもたちが、自己肯定感を高め、将来に希望が持てるよう、食事や学習支援、団らんの場の提供による地域での居場所づくりを行う者に対し補助金を交付するほか、フードリボンプロジェクトの普及啓発を行う。			指標	総計の現状値	R7実績値	こどもの居場所づくりを実施する者を支援することにより、こどもの健全な育成を図るとともに地域の子育て力の向上を支援することを目的とする。 令和6年度から開始したフードリボンプロジェクトの普及啓発を継続し、子どもの一食を支える取り組みを推進した。このように多角的な視点から、安心して子育てができる環境を整備したことにより、拠点利用者数の増加へとつなげることができたが、産み育てやすいまちという実感の醸成に向けた継続的な取組が必要である。	こどもが自身の生活エリアで、食事や居場所に困ることがないよう、1小学校区に1ヵ所の居場所及びフードリボン実施店舗を目標に、引続き団体の支援及びこども達への事業周知に取り組み安心してこどもを産み育てることができる環境整備の推進に取り組む。
総合計画の位置づけ					地域子育て支援拠点利用者数	34,870	36,052		
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち				こどもを産み育てやすいまちだと思ふ市民の割合	58.1	50.3		
個別目標	こどもたちが笑顔で育ち安心して育てられる子育て世代に選ばれるまち				事業費（うち市負担額）【千円】				
個別目標の方向性	子育て家庭の不安を解消し安心して子育てができるよう家庭や地域の子育て力の向上を目指します	R6決算額	2,882	(0)					
		R7決算見込額	2,557	(3)					
		R8予算額	3,670	(0)					
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
泉大津駅高架下子育て支援事業		泉大津駅高架下用地を活用し、育児不安の解消や交流・相談の場として、こどもの健やかな育ちを図るとともに、子育て世代の定住促進を目的として子育て支援施設を設置し、その運営を指定管理者へ委託するもの。			指標	総計の現状値	R7実績値	泉大津駅前という立地的優位性を活かすとともに、民間事業者のノウハウを活かした多様なイベント、講座の開催により、市内外から多数の利用があり、子育て中の親子への様々な情報提供、参加者同士の交流を図ることができた。引続き内容の充実周知を行い利用者の増加を図った。これにより拠点利用者数の増加へとつなげることができたが、産み育てやすいまちという実感の醸成に向けた継続的な取組が必要である。	現行の指定管理者による運営は適切に行われているが、令和8年度末をもって指定期間が満了となる。令和9年度からの円滑な運用に向け、仕様書等の見直しを行い、次期指定管理者の選定に向けた準備を進めていく。
総合計画の位置づけ					地域子育て支援拠点利用者数	34,870	36,052		
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち				こどもを産み育てやすいまちだと思ふ市民の割合	58.1	50.3		
個別目標	こどもたちが笑顔で育ち安心して育てられる子育て世代に選ばれるまち				事業費（うち市負担額）【千円】				
個別目標の方向性	子育て家庭の不安を解消し安心して子育てができるよう家庭や地域の子育て力の向上を目指します	R6決算額	18,127	(10,289)					
		R7決算見込額	18,127	(5,879)					
		R8予算額	18,566	(10,452)					

事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
あしゅびプロジェクト事業（こども政策課）		おやこ広場でこども向けのあしゅびケアや親子あそびを実施する。この中で、子どもにとって足指力をつけることの大切さや日常生活での注意点やポイントを説明し、あしゅびプロジェクトの啓発を行う。			指標	総計の現状値	R7実績値	保護者が普段利用しているおやこ広場で実施することにより、安心できる環境の中で「あしゅび」の大切さや日常生活における注意点について、チラシ等を活用した効果的な周知・啓発を行うことができた。また、本取り組みが新たな地域子育て支援拠点を利用するきっかけとなるなど、拠点の利用促進にもつなげることができたが、産み育てやすいまちという実感の醸成に向けた継続的な取組が必要である。。	就学前児童に対しては保護者への普及啓発が重要であり、講座などに参加しやすい環境とする必要がある。また、あしゅびケアは継続することが大切であり、自宅でも継続できる支援が必要である。これらに加え、日々の健やかな歩行や運動の基礎となる「足育」の視点を取り入れ、子どもの足の健全な発達を促す取り組みを強化していく。
					地域子育て支援拠点利用者数	34,870	36,052		
総合計画の位置づけ									
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち				こどもを産み育てやすいまちだと思う市民の割合	58.1	50.3		
個別目標	こどもたちが笑顔で育ち安心して育てられる子育て世代に選ばれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】							
		R6決算額	135	0					
個別目標の方向性	子育て家庭の不安を解消し安心して子育てできるよう家庭や地域の子育て力の向上を目指します	R7決算見込額	112	0					
		R8予算額	156	0					